

チタキヨ

「マイン」

作 米内山陽子

○登場人物

※全員小6の息子がいる。同じ幼稚園のママ友。

浮間永子（うきまながこ）

イラストレーター。

息子は悠（ゆう）。子どもは一人。夫は拓郎（たくろう）

兵藤いずみ（ひょうどういずみ）

永子のアシスタント。

息子は慎太郎（しんたろう）。他に9歳の蓮太郎（れんたろう）。夫は幸太郎（こうたろう）

鳥谷麗（とりたにりら）

税理士。

3年前に離婚。旧姓に戻った。離婚前は中馬（なかま）。

息子は寿喜（じゅき）。他に7歳の玲彌（れいや）・15歳の美実（みみ）。

永子がテーブルをセッティングしている。  
 いずみが入ってきて

いずみ おつかれ〜。(見直し)おーがんばったじゃん

永子 でしょ？

いずみ まともなアトリエっぽい。コトコト屋敷みたいだったもんね。どうしたのあの

コトコト達

永子 とりあえず上に。そこまでは見に来ないよね、さすがに。……コトコトの

日いつだっけ。

いずみ 可燃が火金で、プラが月、資源が水。出すのはやっとな。

永子 助かる

いずみ アシスタントですから。片付けも手伝ったのに。

永子 そういう仕事お願いしてるわけじゃないでしょ。

いずみ まーそーね。でもやらされるけどね

永子 手が回らないんだよね

いずみ 別に良いけど。ちゃんとしただくモンはいたらないって

永子 ほんと、いずみ来てくれなかったら詰んでた。

いずみ 家庭生活どうしてたのよ

永子 え、とっくに詰んでるけど？

いずみ (笑って) マジかよ

永子 働いてみてわかったんだけど

永子 家事が世界一嫌い

いずみ (被せて)「家事が世界一嫌い」

永子 言ったっけ

いずみ 何度もね。

永子 やばい、全然覚えてない。老化かな。

いずみ (腕時計見て) って言うか時間

永子 あ、ほんとだ。

いずみ とりあえずお茶？

永子 うん。こないだパーティで買ったなんか高そうな紅茶あったでしょ。それ

がいい

いずみ 見りゃわかる？

永子 見りゃわかる。高級そうなカンカンに入ってる。

いずみ おっけ。

いずみ、キッチンへ。

永子、おもむろに客席を向き。

永子 ようこそ、お越しくださりました。皆さんがいらっしゃるのは、東京・早

稲田にある イズモギャラリーです。

しよ。が、一日そちらは忘れてください。忘れて、別の場所として想像し直しま

しよは新宿駅から約20分ほど西の方角へ電車に乗って、急行が停車する駅……下北沢でも明大前でも吉祥寺でも構いません。そのくらいの規模の駅から徒歩でほしい15分の場所にあります。

広さは、ここからこっち（客席の前に線を引く）。メゾネットタイプの物件です。ちょうど仕事か軌道に乗った頃、不動産屋で掘り出し物だと紹介されました。（見回して）うん、掘り出し物です。

しよはわたしの仕事場です。

想像してただけでしたか？ 今すぐじゃなくても結構です。わたしたち

もできるだけ、皆さんを1時間強、この場所に留めておけるように努めます。一緒に、がんばりましょう。

いずみ (声) 永ちゃん

いずみがお茶の缶を持って出てくる

いずみ これのこと？

永子 そうそれ。

いずみ 賞味期限大丈夫？

永子 え？もらったばっかのはず

いずみ 書いてないや。大丈夫ね？

永子 そのはず

いずみ オッケー。

永子 他なんかないかな？大丈夫？

いずみ 大丈夫でしょ。そんな気を使うような相手じゃあるまいし

永子 使うよ〜〜

いずみ そーかね

チャイムの音。

いずみ 時間ぴったり。出てくるね。

永子 うん。

いずみ、去る。

永子 (深呼吸) チタキヨ第6回公演『マイン』開演です。

暗転。

2

麗がいる。

麗の前に永子が座っている。

麗 えゝすごいね。こんな仕事場借りれるなんてさ  
永子 いやもう、全然。火の車  
麗 なにそのよくわかんない謙遜

いずみがお茶持ってきながら

いずみ 言ってるよ。マジで時々意味わかんない謙遜するからこの子。  
永子 そんなことないでしょ  
いずみ あるでしょ。あたしにもやる  
麗 わー  
いずみ なに  
麗 めっちゃ仲良くやってるじゃん。いいなあ。  
いずみ まーね。はい、お茶。  
麗 ありがとう。

いずみは永子と自分の分も置き、座る。  
麗はお茶を飲んで。





麗 久しぶりこの反応。って言うかすべ気付いてよ。

永子 わたし元々しないし

いずみ わたしも

麗 珍しい勢

いずみ え、いついつ

麗 「ロナになってすべだから、もう三年くらい前？」

永子 どうして？

麗 あっちのこれ（小指立てる）

いずみ・永子 あ~~~~

麗 しかも相手がこれ（妊娠）でさあ

いずみ・永子 うわ~~~~

麗 あいつ稼ぎもよくないから養育費も全然で。

いずみ まじかよ。許せんな

永子 じゃあ3人全員？

麗 そーよー。ちょうど一番上なんか受験だったからさ、もー超大変だった

いずみ だからしばらく連絡取れなかったんだ。

麗 実家に戻ったしね。そこでリモート授業受けてる子ども達と一緒にバリ

バリ勉強して税理士になりました。

いずみ めっちゃすげえ

麗 元ギャルの根性なめんなよって感じよ。超怒ってるのに頭が超冷静だったからね。勉強クソ捗った。

いずみ そうだうららんギャルだったわ

永子 でもそれなんか、悔しくない？

麗 ……ん？なんで？

永子 あっちの逃げ得だよなあって

いずみ まうちよっとは痛い目見て欲しいとか思っちゃうよね

麗 んゝまあね。ちよっとはそう思わないでもないけどさ、あいつに復讐するほどの体力は残ってないしね

永子 でも、養育費は子どもの権利だし

麗 わかってるよ？ でもないもんはないんだし、めっちゃくちや揉めた上で決めたことなんだわ。

永子 ……うん、ごめん

麗 うん

いずみ (無駄に明るく) ねえ、それ(紙袋)もしゃゝ

麗 あ、ヤバ！先に出すべきだった。てみやげ〜

いずみ お高いとこのだけ〜

麗 焼き菓子〜

いずみ お持たせ出しちゃっていい？

永子 わたしやっくてくるよ

いずみ ……そ？

永子 これ、ありがとう

麗 うん

永子、キッチンへ

麗 いずみんとは元気？慎太郎と……なに太郎だっけ

いずみ 蓮太郎。

麗 太郎シリーズ

いずみ 元気元気。毎日喧嘩してる。

麗 男子の喧嘩エグいよね

いずみ うちはコロナで幸太郎も家いるようになったからさ。

麗 リモート？

いずみ まあ、そんなとこ。

麗 それもそれでだね。

いずみ そうなんだよね

麗 だから永ちゃんここで働いてんだ？

いずみ まーそれもあるかも。ホント家が変わっちゃってね。永ちゃんが雇ってくれて助かった。

麗 どんなことしてんの？

いずみ アシスタントなんだけど、永ちゃん最近一人で最後まで仕上げちゃうから、主には取材の手配とか、連絡窓口とか、スケジュール管理とか？

麗 秘書じゃん

いずみ その言い方かけえ。

麗 週どのくらいいるの？

いずみ 忙しくないときは週1〜2くらいかなあ。忙しくなると週4〜5とか？時間の融通きかせてくれるし、超ホワイトよ

麗 パート秘書？

いずみ その言い方はシヨボい

永子は皿に盛った焼き菓子を持ってきて。

永子 立派な戦力だよ。いずみないと仕事回らない。

麗 頼りにしてんだ

永子 うん。すごく。ここの掃除とかもやってくわえて

麗 ハウスキーパー的な事までやってんの？ちゃんと買ってる？

いずみ もらってるよ〜

永子 出してるよー！

麗 ……出してさっ。いじめたいね。

永子 ファインシエ、美味しそう

麗 わたしも食べよう

ファインシエをむしゃむしゃ食べる二人

いずみ この……怖くない？ 伝わっていませんかね？ ちよっと解説はせてもらいますね。

あ、わたしたち、ウチの長男の幼稚園時代のママ友で、こっちが永子。こっちが麗。わたしはいずみと申します。

もともとここ（永子といずみ）が仲良くて、それとは別にここ（麗といずみ）が仲良くて、その結果こう（3人組）っていう、なんていうか、わたしはハブ？って言うんですか？ 中継基地？ そういうね、起源だもんで、ここ（永子と麗）があーんまり、仲良くない、っていうと違うな、表面上は仲いいんだけど、ウマが、そう、ウマが合わない。

「コロナ前くらいから麗と連絡取れなくなって、永ちゃんの仕事が忙しくなって、わたしは今こういう状況で、平和だったんすよ。なのにさあ！なんでよりによって呼んじゃうかね。」

去年くらいに急に麗がFacebookアクティブになって

「税理士やってます」

とか投稿するから！ それを永ちゃんがみつつけて

「税理士は怖いから知り合いに頼みたい〜」

とか言うから！ 人は忘れる生き物です。とは言えだよ。君たちはなぜ、ウマが合わないことを忘れるのか！ 今、この状況の被害者は間違いなくわたしです。

麗  
いずみ  
永子  
いずみ

永子

めちゃくちゃおいしい

麗

でしょ？ 永ちゃんこういうバター感あるの好きだったな〜って思ってた

永子

覚えててくれたの？

麗

あったり前じゃん。ウチの寿喜にケーキ作ってくれたことあったでしょ？

あれ今でも寿喜話すんだよ。

永子

嬉しい！レシピ教えてたっけ？

麗

あ、知りたいかも

永子

家にあるから、帰ったらラインするね。

麗

まじ！やった。っていつかわたしらライン交換してたっけ？

永子

え、どうだろ。

スマホを確認する二人。

ヒヤヒヤしているいずみ。

永子

ないかも

麗

ないね



永子・麗

……じゃあ

いずみ あー、あたしどっちのも知ってるから、あとで繋ぐよ

永子 あ、ホント？

麗 お願いしちゃおっかな。

いずみ オケオケ。ほら、あの、仕事の話、しようぜ

麗 ほんとだね

永子 お願いします

麗 えーと、まずは状況を聞かせてね。今までは個人事業主？

永子 うん

麗 年収どれくらい？

永子 ……平均的には一千万くらいだけ、

いずみ ……

永子 今年が三千万くらい行きそつで……

いずみ (静かに驚く)

麗 おっぶ……さん……？

永子

三千万くらい

麗

イラストレーターって儲かるんだね

永子

たまたまやった仕事がバズって、ラッキーパンチみたいなものだから

麗

変な謙遜しない

永子

いや、ホントに、これが続くわけじゃないってわかってるし、自分の気持

麗

ち的にラッキーだって思ってないんだめなだけだから  
じゃ、そういうことにしておこう。申告、青色だよね？

永子

それが……

麗

ちよっと待ってよ

永子

……お恥ずかしながら

麗

白かい

永子

白です

麗

おバカ。税金いいように持ってかれてるでしょ。

永子

それで、ニュースとか見てるとどんどん腹立つようになってる。

麗

わかった。それで青色にすることね。

永子

あと、なんかこういう時の税金対策を知りたい。

永子、メモを取り出す。

麗 そうだねえ……「こいつとこ」借りてるのはめっちゃくちゃいいと思うよ。あ

とは機材買い換えちゃう。

永子 あ、それはもう済ませた。

麗 そうね、あとは車買つとか

永子 わたし免許ないけど

麗 いずみ持ってないの？

いずみ 持ってるよ

麗 従業員が持ってるじゃ社用車になるから車買っちゃえば

永子 車……

いずみ え、でもここ駐車場ないよ

麗 永子んところはある？

永子 自宅にはあるけど、元々の車が停まってる……

麗 それ買い換えれば良いよ。

永子 それ社用車じゃないんじゃ……

麗 社用車としても使えれば良い。永ちゃん名義にして、いずみも運転する前

提の保険組めば大丈夫だよ。

いずみ わたしは別に良いけど

麗 じゃなきゃ取られる税金増えるだけだよ

永子 それはいや。(書き付けて) 社用車

麗 あとは、経費になる共済にマックスで入っちゃうとかね。

永子 きょうせい

麗 ふるさと納税も有効だし、DeCoは知ってる。

永子 ふるさとのうせい、いじじい。うまい。

麗 個人拠出年金。あれも経費になる。寄付したいところがあれば今年やった

永子 方がいいね。

麗 きふ

麗 あとは投資？ つみたてNISAなら始めやすいかもしれない。それから…

：

永子 待って待って、やることが……やることが多い！

麗 そうでもしないと税金むしり取られるよ。国って強盗だから。

いずみ 国こえ

麗 まゝあとはぶっちゃけ……法人化したら？

永子 法……人……化……？

いずみ だめだ。永ちゃんがパンク寸前だ。

麗 大丈夫。そういうの助けんのが仕事。

永子 ……よろしくお願ひします！

麗 まあとりあえず今決めなくても良いけど、十月か……

永子 今年中だよな？

麗 そうだね。来年に持ち越しちゃうと純粹に40パーは所得税でもってかれる。

いずみ 40!?

麗 単純計算で一二〇〇万

いずみ おおおお……途方もねえ

麗 その年収あったらわくだよね

いずみ わくだよ。

麗 それと健康保険も累進だし、住民税もえぐい。

いずみ 国……

麗 腹立つよね。だって三千万で……結構がんばったんじゃない？

永子 あーいや……

いずみ めちゃくちゃがんばってたよ。去年は結構ここに泊まり込んでたりしてた

もんね。

永子 うん。

麗 え〜スゴ。旦那さんなんも言わない？

永子 なんも言わないことはなかったけど、帳簿見せたら

麗 かっこよ。数字でぶん殴ったんだ。

永子 ぶん殴った……わけじゃないけど、納得はしてへる。

麗 とっくに旦那さんの収入超えてるでしょ

永子 それは、まあ、うん。ここ三年はそう。

麗 旦那さんの収入はどれくらい？

永子 え？それは関係ある？

麗 あ、ごめん単純な興味。

永子 ……よく知らない。

麗 そうなの？

永子 もうあんまり明細も見せてくれないから

いずみ あゝそれは傷ついてるかもね。

永子 そうかなあ？

いずみ 結構さあ、いやがるじゃん、男って。嫁の方が稼ぎ多いと。「七七じゃね

んだから」とか言ってる。

麗 うちら世代までは特にね。

永子 夫はそういう人じゃないから。ちゃんと働いてるし

いずみ ……あー……ごめん、一般論。

永子 夫は、全部、応援、してくれてるから

麗 じゃあ明細見せて貰いなよ。

永子 なんで？

麗 ……家計どうしてくの？

永子 ……なんの話？

麗 世帯収入で今後の計画決まってくるじゃん。それこそ子どもの進学とか教育費、老後の貯蓄だっしてしなくちゃいけないし、親の介護とかもあるですよ。

永子 ……わかってる

麗 壁にぶち当たったときに一番揉める元になるのってお金だからね。ちゃん

と話し合った方がいいと思うよ

永子 ……わかってる

麗 ホントにわかってる？

永子 わかってるよ！ バカにしないで

いずみ ……バカにはしてないと思うな

永子 バカにしてる。昔っからずっと私のことバカにしてた

麗 ……なにそれ

永子 してたでしょ？

麗 してた。すっごくバカにしてた。でも昔の話だから。寿喜が幼稚園入った時、一発でこのママとは気が合わないなって思った。

ヘアヘアしてて、ノロノロ動いて、キョロキョロしてて、あくわたしコイツ好きになれないかもしれないって思った。

まーでも大人だし、関わんなきゃいいやって思ってた。だけど子ども同士が仲良くなっちゃうときさ、そうもいかないじゃないですか。ウチの寿喜

と、いずみんとこの懐太郎と、ここ（永子）のこの悠が年少から年長までずーっとべったり仲がよくて、だから関わらざるをえない。帰りに公園寄らざるをえない。話さざるをえない。

だから最初はね、まーちょっと態度に出たかもしれないっすわ。



あたし正直者だから。嘘つけないもん。

でもさ、付き合っただけは良いところも見えてきたりするもんだね、めっくらなのは慎重だからだとか、細かい仕事が丁寧だとか、子どものお話じつじつと聞いてあげるタイプなんだとか、ほそつと言っ一言が面白いな〜とか、だんだん、好きになっていったのも、本当。だから……

ガツカリ

……ガツカリ？

わたし結構好きだけど、永ちゃんのこと。そりゃタイプは違っけど、だからこそ……うらやましいなって思っただけだよ。

……そんなの嘘。

じゃあなんでわたしに声かけたの

……

嬉しかったんだよ。今回声かけてくれて。

……悔しくって

なにが

バカにされっばなしは、悔しかったから。すくすくがんばって、収入

麗 永子  
麗 永子  
麗 永子  
麗 永子  
麗 永子  
麗 永子

も増えて、いろんな取引先との打ち合わせだってモノが言えるようになってきたし、わたし変わったから、今ならもう、バカにされないかもしれないな  
いって

麗 ……すごいと思うよ。永ちゃん。

永子 麗ちゃんの方がすごい。離婚して、子ども3人引き取って、税理士の資格

取る方がすごい。

麗 うん、めっちゃくちゃがんばったよ。永ちゃんもめっちゃくちゃがんばったん

でしょ？

永子 ……がんばったのかな

麗 数字に出てる。この額はがんばってないと稼げないよ。ラッキーだけじゃ

無理。

永子 ……そうかな

麗 わたし年収650万だよ。負け負け。

永子 勝負したいわけじゃなくて……

大成功じゃん。確かにわたしも資格とって、平均収入の上いって、あーこれで勝ったなって思ったもん。なににかわかんないけど。数字でサレ妻シ  
ングルマザーってレッテルぶん殴った感じあったもん。

永子 ……

いずみ 二人ともすっごいわ。わたし年収一〇三万だもん。

麗 一〇三万

いずみ あゝあたしが扶養の範囲内ですってお願いしたんだけどね

麗 それ労働に見合ってる？

いずみ 見合ってるよー！言ったじゃん。基本週1〜2。休みたいときは休ませてくれる。あとめっちゃくちゃご飯奢って貰ってる。

麗 ごはん

永子 ……ボーナスとかもダメって言うから。

いずみ 助かってんだ〜3太郎にお土産もくれるしね。超ホワイトだよ、永ちゃんのアシスタント。

いずみ まーうちはわたしが稼ぐと嫌な顔する方だからさ、扶養内でなんとかって

お願いして、働かせて貰ってる……貰ってるってやな言い方だね。令和

やっちゆうねん。なんだけど、実態、働かせて「もらってる」感じ。すご

いよね、本人コロナで仕事なくなってるんだよ？ 今うち失業保険と貯金で

なんとかやってる。なのになんかわたしが稼ぐのダメなんだって。すっごくな

い？ 令和やぞ。

麗  
パパ太郎……

いずみ  
幸太郎ね。しょうがないよ。幸太郎50だもん。もう考えなんか変わるな  
いよ。其処に甘んじてるわたしもわたし。フィナンシエいただきます。

いずみはフィナンシエを食べはじめろ。

いずみ  
うま〜

いずみ、むしゃむしゃと食べながら

いずみ  
わたしからしたらすごいのだらだよ。永ちゃんなんて、売れてない時期  
から手伝ってるけどさ、めっちゃくちゃ努力して売れて、麗だって、税理士  
なんてめっちゃくちゃ難しい資格とって、あたしなんにもないもん。とっ  
くにすごいんだから、もういいじゃん。

永子  
……

いずみ  
このフィナンシエめっちゃうまい。

麗　　でしょ。永ちゃんももう一個どつ。  
永子　　ありがとう

麗　　あのお、  
永子　　うん

麗　　法人化は本当にした方がいいと思うよ。年収九〇〇万超えたら法人にした方がメリット高い。

永子　　あゝでも、わたし、帳簿とか本当に苦手で  
麗　　そういうのにも税理士使えるんだけどね。

永子　　え？

麗　　あゝ、わたしがやりにくければ誰か紹介するよ。安くて良心的な人はいっぱいいる。知り合いだと逆にやりにくいこともあるからな。

永子　　……麗ちゃんがいい  
いずみ　　えっ

麗　　……いいの？

永子　　うん、お願いしたい。  
いずみ　　まじで？

永子 わたし、会社作る。いずみ、社員にならない？

いずみ え？

永子 3人で、会社やらない？

フィナンシエがこぼれ落ちる。

暗転。

### 3

麗が立っている。

麗 個人事業主が法人化する場合、たくさんの手順が必要となります。まずは会社の基本事項。その1、屋号

永子出てきて

永子 会社名……これはない？

永子、ボード「ZーCー」と叫ぶ。

麗 まずこれ（「ー」）使えないし、何の意味？「こつ？

永子 永子といずみと麗

麗 辞めるかもしれないじゃん

永子 辞めるかもしれないの！？

麗 すくなくとも、いずみはパパ太郎を説得しないと

いずみ、出てきて

いずみ 難航中

麗 まじか。

いずみ なんか……ストレスを楯にしてめちゃくちゃ言われる。「俺の再就職へのやる気を削ぐつもり？」「そのストレスでまだ働けなくなったらどうするの？」

麗 家計簿と口座の残高でぶん殴ったら？

永子 いや、それはいずみのダメージも大きいよ

麗 経験者は語るね

永子 麗のそういうところや

いずみ まゝでも、このまま行くと食い詰めちゃうしね

麗 捨てちゃえば?

いずみ それとこれとは話が別。っていつかこれ会社名?にうつ?

麗 ビックリマークは使えない。

いずみ えゝでも音可愛いね。にう。「ニューー!」みたいな感じしない?

永子 するかな?

麗 ちよっとわかんない

いずみ 一二重ねてにうにうにしたら?

永子 めちゃくちゃ似た名前のブランドあるね

いずみ だめか。あ、じゃゝカタカナにして

いずみ 「ナウイ」と書へ。

いずみ どうよ

永子 ……本気?



いずみ よくない？ 「な、かこ」と、「う、う」と、「すみ」。ZーJの

はわかりやすくはない？

仕組みはわかってたんだ

麗 「ナウイ」！

だせえ

ええ

麗 屋号は並行して考えよう。やることまだまだあるよ。今年終わっちゃう

よ！

紙が現れる。

そこには起業の手順が書いてある。

麗

(紙を読み上げつつ) 会社の基本事項決定。屋号はまあ考えて貰うとし



て、目的と事業内容。何の会社で何するところですよってことね。本所所在地はここがいい。資本金は1円からでもできるけど、金額多ければ信用に繋がるからちよつどいい額算出する。あと会社印ね、実印、銀行印、角印、ゴム印。定款は雛形あるからアレンジすればいける。あとは資本金の手続きして、法務局に登記申請、出すものいっぱい。申請後に確認。ここまでで質問は？

全然頭に入ってこない……

登記が終わったら口座開いて個人事業の廃業手続きして資産と負債の移行手続きして、登記事項証明書と印鑑登録証明書取って、法人設立届出書出して、労働保険入って社会保険にも入らないとだから

呪文……？

手続き系全部、伝手もあるし、わたしがやるから。その分がつり賣うね。こういう時よ、煩わしいことは専門職に札束積みば何とでもなる。

頼りにしてます

だから永ちゃんはとにかく目の前の仕事、それから会社名！

はい！

いずみは。パパ太郎捨ててきな

永子

麗

永子

麗

永子

麗

永子

麗

いずみ 説得してきます。

永子といずみ、去る。

麗 税理士は、基本的には起業や個人と顧問契約を結びます。なので、この会

社の社員にはなれません。雇って貰っている税理士事務所にも恩があるし、顧客だっています。そう言ったときのふたりが、結構ブーブー言ってくれたのが、実はちょっと嬉しかった。人に求められるって、とんでもない快感です。だから、この会社うまく行って欲しい。(奥に)会社名どうすんの〜？

永子 (声) まだわかんない〜

麗 だそうです。時間は待ってはくれないから、とにかく前に進むしかありません。

いずみが電話している。

いずみ

ごめんねえ。ママもうちよっとかかるとかかるとも。蓮は？（宿題やってお風呂も済ませたらしい）そっかそっか。パパは？（部屋から出てこないらしい）……あゝゝゝ。うん、そっとしといてあげて。晚ご飯わかった？（冷蔵庫の中を発見したらしい）そうそう。あとスープ温めて。なんかあったらすぐラインしてよ？（了解したらしい）はい。ありがとね。よろしく、慎太郎。大好き。（俺も大好き）

電話を切って、少し疲れた様子はいずみ。

永子がぐらぐらとやって来る。

永子

お疲れ〜

いずみ

終わった？

永子

んゝ。もうちょっと

いずみ

スープあるよ

永子

のみたい……お腹へっへっ

いずみ よっしや

いずみ、キッチンへ。

いずみは作業しながら、永子は座って話す。

永子 いずみ……

いずみ んん？

永子 幸太郎さんごじつ？

いずみ あゝ絶賛引きこもり中。

永子 そっかー……。わたし説得行こうか？

いずみ 無理でしょ？ 気が小さいんだから

永子 それはそう。

永子 でも

いずみ 引きこもっててもさ、子どもの野球には行ってるし、ご飯作るとけば食べ

るし、気持ちの整理に時間かかってるだけだと思っんだ。

永子 なんか……巻き込んだ？

いずみ 何言ってるの。働かなきゃ家計が詰んでだし、かといってバイトくらいし

かまともに働いたことないし、社員で雇ってもらえるならラッキーだよ。

永子 そっか

いずみ そ。。。。。今年は冬コミ無理そうだね。

永子 あ~~~~~ね~~~~~

いずみ しゃーない。

永子 もしかしてなんか書いてた？

いずみ あ~~~~~ま~~~~~

永子 うっそ、読みたい。誰の何？

いずみ ミッチーとメガネくん。

永子 スラダンじゃん。絶対読ませて。

いずみ ミッチー受けだけど

永子 最高。解釈一致。

いずみ 結構絡むけど。

永子 それが良いんじゃない！ お願い！ 今手が止まってて、モチベ何もないの

いずみ ……わかった。

いずみ、スマホ操作。

永子、スマホ見て

永子 ありがと~~~~~(と操作を続ける)

いずみ さすがにいないときに読んでよ

永子 え~~~~。は~~~~い

いずみ、スープ持って出てくる。

いずみ どーぞ

永子 いいにおい~~~~。いずみの分は？

いずみ 家。これはお裾分け。

永子 めちゃくちゃありがとう

いずみ 永ちゃんが美味しいアサリくれたでしょ？ それでクラムチャウダーやっ

てみた。冷蔵庫にまだあるから。

永子 神様

いずみ 今日中に終わらせよう？



永子 やゝゝ徹夜かなあ。したくないけど、またないけど、間に合わない。

いずみ あそここの案件でしょ。修正指示遅い割に締め切りシビア。

永子 あたりゝ。今の出したら文句言わなまぜ。

いずみ そうしなそうしな。じゃ、あたし帰るね

永子 ありがとう

いずみ 飲み終わったら流しにつけてよ

永子 はゝい

いずみ 頼んだ

永子 いずみ

いずみ なに？

永子 法人化してうまく行くと思う？

いずみ いくでしょ。

永子 即答だね

いずみ 永ちゃんが描いた絵がセブンイレブンで一番くじになってんだよ？ キー

サウンドに置いてあるんだよ？ コラボカフェだってやるんだでしょ？

永子 ……そーだねえ

いずみ うまく行くに決まってるじゃん

永子 ……ありがとう。

いずみ あんまり無理しないでよ。

永子 は〜い。お疲れ〜

いずみ お疲れ〜

いずみ、出て行く。

永子、スープを一口飲んで、スマホを開く。

永子 「コートで鮮やかにスリーポイントを決める腕が、彼の背中に回された」

……………(悶える)

永子、スマホを読みふける。

永子の顔をスマホのバックライトがてらす。

暗転。

5

麗が領収書を仕分けしている。  
それを手伝っているいずみ。

麗  
いずみ  
ものの見事にぐちゃぐちゃ。  
すまないねえ。

麗  
いずみ  
一〇月にこんだけ領収書ため込んじゃダメでしょ。  
そうねえ。

麗  
いずみ  
項目分けされてないし。  
ねえ

麗  
いずみ  
毎月やった方が絶対的に楽だと思うんだけど。  
そうなんだよねえ。

麗  
いずみ  
これは秘書の業務外？  
秘書じゃなくてアシスタントね。

麗  
いずみ  
アシスタントって具体的に何するの。  
そりゃ永ちゃんのイラスト完成までのアシストよ。

麗  
いずみ  
全然イメージ湧かない。  
永ちゃんアナログだったから、画材のメンテと補充、デジタル納品までの



いずみ □堅いよね？

麗 こわいやだなにやめて。

いずみ □堅いはず。守秘義務あるもんね？

麗 職業倫理持ち出すほどのこと？

いずみ だって永ちゃんに言えないんだもん。お願い。□堅いって言って！

麗 (渋々) おれ、くち、かたい

いずみ ……ほんと？

麗 なんなの

いずみ ……幸太郎、実家帰った。

麗 ……わーお

いずみ ママんところで休養中。

麗 グレイトだね

いずみ ファッキンググレイトでしょ

麗 慎太郎達は？

いずみ え？学校。

麗 いや、オンタイムでってことじゃなくて

いずみ 平和にやってるよ。むしろ引きこもりパパがいなくなって家の空気が綺

麗

離婚まっしぐらじゃん

麗  
いずみ

なんでよ

麗

別居でしょ？

麗  
いずみ

休養中。大丈夫。幸太郎ママこっちの味方だから。

麗

えー、わかんない

麗  
いずみ

なにか

麗

それ絶対離婚した方がいいと思うけど

麗  
いずみ

仲間増やそうとしてる？

麗

違うよ。いずみのために言ってるの。社員になったら経済的にも自立する

麗  
いずみ

んだし、必要？ その夫。

麗

必要だよ。

麗  
いずみ

なんでよ。

麗

愛してるもん

麗  
いずみ

どこを

麗

どこって。愛ってそういうもんじゃなくなっちゃう？

麗

じゃあ愛ってどういふものなのよ。

いずみ 誓ったからね。病めるときも健やかなるときも

麗 え

いずみ 引かないでよ

麗 夢見る少女じゃないんだから

いずみ 夢とかじゃなくて、本当に、人生に波ってのはあるじゃん？ 良いときも

あれば悪いときもあって、ウチはこれまでそんなに喧嘩もなかったし、経済的な心配もなかったし、結構穏やかに日々を過ごしてきたのね。それは幸太郎ががんばってくれてたことがすごく大きいわけ。それがたった一個、本人のせいじゃないところで崩れたってだけなんだよ。この困難を乗り越えたらうちは最強の家族になる気がするんだよね。

麗 ……乗り越えなくて良い困難もあると思うけど。

いずみ うーん、なんて言うんだろう。乗り越えたい困難なんだよ

麗 ……（芝居がかって）うっ

いずみ なになに

麗 眩しすぎて目が潰れそう

いずみ なにそれ

麗 いずみの気持ちはわかった。

いずみ ありがとう

麗 まゝそれでもわたしは離婚をオススメしますけどね

いずみ そう割り切れる話じゃないってことです

麗 そーですか

いずみ 心こもってない

と、永子が大荷物で帰ってくる。

永子 ただいま

いずみ・麗 おかえり〜

永子 わゝありがとう領収書

麗 (荷物に目が行きつつ) うん

いずみ (荷物に目が行きつつ) どうだった？打ち合わせ

永子 断った。

いずみ え？

永子 だってわたしのウサたちに「こんなとこに毛が生えてたら彼はガッカリす

るかも！」とか言わせられないでしょ



いずみ え、そういうやつだったの？

永子 脱毛の広告。代理店の人に「大手です！」とか言われたけどぬか喜びだったよ

いずみ シャーない、それは

麗 ……でもそういうのってギャラいいんじゃないの？

永子 いいんだろうけど……わたしのウサたち、若い子も好きでいてくれるから、そういう風には使われたくない。本来、どこにどんな毛が生えてたかって関係ないはずでしょ。

麗 ……そういうもん？

永子 他で稼ぐから、大丈夫。いずみ、今日わたしに切あったっけ

いずみ あ、新しいぬいぐるみのデザイン監修と、そろそろLINEスタンプ第8弾のラフ。

永子 わかった。今日中にやっつける。

いずみ オッケオッケ。っていうか、どしたのそれ（紙袋）

永子 あ、これ？

麗 買い物？

永子 うん。今年はお金使った方がいいかと思って。経費になるかな？

いずみ えー何買ったの？

永子 服とか鞆とか……ムカムカしてたらつい……

麗 あゝまあ、ならんことはない、かな。

いずみ ……いいじゃん。モチベ上げて仕事しちやいな！

永子 ありがとう〜！ あ、これ今日の領収書。

永子、財布から領収書を出す。

いずみ やつとくやつとく。

永子 ごめん、後よろしくです。

いずみ 了解

麗 あ、あと定款のチェックしておいて。デスクに置いてるから。

永子 はい

麗 後そろそろハンコの注文するから会社名。

永子 うあゝそうだ。会社名。

麗 まだ決めてなかったの

永子 忙しくて

麗 わかるけど、ハンコの注文もあるから

永子 考えとく

麗 なるはやね

永子 (去りながら) はい

永子、去る。

黙ってしまふ二人。

いずみは領収書を見て

いずみ Uhh。バーバリー。ボツテガ。グッチ。エトセトラエトセトラ。

麗 伊勢丹だな。

いずみ 伊勢丹だねえ。

いずみ (漏れる) おほー

麗 モヤついてんな

いずみ いいえ！モヤついてなんかいないわ！

麗 貸して。

いずみ これほとんど経費になる？

麗 仕事に関わるなら、それは経費。

いずみ 仕事

麗 イラストの題材とか、取材とかね。そういうのはならんこともない。調査

いずみ 入ったときにちゃんと関連性説明できれば良いんじゃない？

麗 調査って入るもの？

いずみ あんま聞かないけど、入るときは入る。

麗 こえ

麗 国って強盗だから

領収書の整理に戻る二人。

麗 ……美実、覚えてる？

いずみ え？ ああ、じゅっきーのお姉ちゃん？

麗 今中三でさ

いずみ わーそうか、もうそんななるか。時間の流れ

麗 高校生になったら脱毛したいんだって

いずみ お年頃だね

麗 今脱毛すこい安いじゃんね

いずみ 確かに。うちの時めっちゃくちや高かったよね

麗 美実、毛深いの気にしててさ

いずみ ま〜でも大人になったら体質変わったりするからねえ

麗 わたしめっちゃくちや毛深くて、剃ったら濃くなるって言われて剃らずにいたら男子にからかわれたりして、すこいコンプレックスだった。だから美実の気持ちわかるんだよね。将来の話されてもしようがないんだよ。今なんだよね。今解決しないといけないって思い詰めちゃう。中学高校くらいってさ、ルックスがものを言っじゃん？ その時期をどう乗り越えたかでメンタルに影響でちゃう気がしてね。

いずみ させるの？脱毛

麗 いやあ、わっかんない。脱毛したら二重にしたいって言い出す気もする。

最近「ママ〜、エロポトってびっしょり思っっ」「とか言ってるから。美容系

YouTuberめっちゃくちゃ思っっ

あ〜、わたしも見てる

わたしも見てる。脱毛もしてる。ハイフだって気になってる。ママだって

脱毛してるじゃんとか言われたらもう何にも言えなくなる。でも、脱毛ってそんなだめなことかな。

いずみ 永ちゃんのこと気になってるんだ

どこに毛が生えてたっていいよ。そりゃ。でもない方が生きやすいのは事実じゃん

いずみ 永ちゃんそう言うこと言ってるんじゃないと思うよ

麗 そうかな

つるつるじゃなきゃダメだって脅すような広告には乗っからたくないってことでしょ

麗 そうかね

いずみ そうだよ。脱毛が良い悪いじゃなくて、脅しがダメってことだから。

麗 ……さすが秘書。良くわかってんだね

いずみ わたしもしたよ。V-O。

麗 まじ？ ぶっっ？

いずみ いってえ

麗 いってえかあ

いずみ 介護のときに良いって聞いて、白髪混じる前になって思ってた。結構前だけ

麗  
ど。  
いってえんだ……

いってえいってえと言ひ合ひながら領収書を整理する二人。  
永子が出てくる。

永子  
ダメだ。怒りが収まらなくてウサの顔全部こんなん（目をつり目に）なっ  
ちやう。

いずみ  
あゝ休憩しな。お茶入れよっか（キッチンへ）

永子  
ありがとう

麗  
（手を止めず）定款は？ 見た？

永子  
あ、ごめん。まだ。

麗  
一応今日中に確認して

永子  
うえええ

麗  
うええじゃない

永子  
硬い文章目がすべる

麗  
必要事項ですので目を通してくださいね、社長

永子 重い

麗 めんどくさいけど、乗り越えたら楽になるから

永子 ……すぐ倒産したりして

麗 させないようにがんばらないとね

永子 楽にはならないじゃん

麗 仕事やりやすくなると思うよ

永子 仕事ねえ

麗 仕事

永子 やっぱり受けときゃ良かったかなあ……

麗 ……脱毛？

永子 お金に目が眩みそうになった

麗 ブレブレだねえ

永子 ぶれるよ。そんなちゃんとした人間じゃない

麗 志高くて素晴らしいと思うけどね

永子 ……なんでそう言う言い方するのよ

麗 褒めてるじゃん

永子 褒めてるように聞こえない



麗 褒めてるって

永子 じゃあ素直に褒めてよ

いずみ (声だけ)ケンカしなーい

永子 (いずみに)ケンカじゃない

麗 あのねえ、わたしは今君の領収書をあれこれしているわけだよ

永子 あっはい

麗 それをボーッと見られたまま言い方どこの言われてもしょうがないって言

永子 いますかね

麗 すいません

永子 手動かして

はい

永子も作業を始める。

麗 今までどうしてたの、領収書

永子 年始めに、2日くらい取って一気にやってた。

麗 いずみにやって貰えば良かったじゃん

永子 いずみはアシスタントだから

麗 もう秘書でしょ、実態

永子 わたしが秘書とか、おこがましいよ

麗 アシスタントが大丈夫で秘書がだめなの意味わかんない

永子 秘書って……秘書従えてるって……

いずみお茶をもってきてながら

いずみ じゃあマネージャーは？

永子 マネージャー

永子はいずみを見て

永子 マネージャー……マネージャー

永子 なんかい

いずみ じゃあマネージャーってことで

永子 マネージャーさん。  
いずみ 社長さん。

いずみ 顧問税理士さん

3人、くつくつと笑い

永子 よし、やるわ。

いずみ お、がんば

麗 永ちゃん

永子 定款と社名でしょ。

麗 よろしく

いずみ 領収書は任せろ

永子、コップをもって去る。

麗 いずみは時間大丈夫？

いずみ (スマホ見て) ああ、うん。でも

麗 大丈夫。後やっとくし。

いずみ わりーね

麗 全然

いずみ

永ちゃんが法人化するって言って、麗がばーっと準備と仕事を始めて、でもわたしは相変わらずのホワイト勤務。なんとなく罪悪感、みたいな、申し訳ない、みたいな顔して、ヘラヘラと働いていました。

夫は帰ってこないし、LINEも既読スルーだし。

でもこれは彼のせいじゃなくて病気のせいだからしょうがない。夫の母から「今日の幸太郎」って朝番組みたいな写真が送られてくる。ベッドの真ん中が人の形に膨らんでる写真。毎日。それを律儀に毎日保存する。愛してるんだと言い聞かせる。ここが踏ん張りどころなんだって。

だから家では明るいママの顔をする。LINEでは優しい妻の顔をする。毎日通帳を見て、心が不安で張り裂けそうだけど、ここでは気の良い友達顔をする。これからはマネージャーの顔もする。

何かしらの顔をしておけば怖くない。

どれが本当のわたしなんだろう……なんてこと、思うほど子どもじゃない。どれもわたし、どれも本当。

何重にも重ねた本当のわたしの奥に、地雷みたいにでっかい不安が埋まっている。

上の子は来年中学校で、制服代をみて息が詰まりそうになった。公立のせに制服代に十万以上取るんじゃない。卒業に向けての積み立てもある。下の子は来年修学旅行だ。その積み立ても始まる。住宅ローンだってまだ二十年ある。

子ども達はいずれ自分の部屋が欲しいって言い出すでしょ。体もどんどん大きくなるから、服も、食べ物も足りない。永ちゃんの会社の社員になったとして、夫の給料ほどは貰えないと思う。結局、夫が回復しない限り食い詰めることになる。

働けよ！って思っちゃおう。働かせてくれよ！って思っちゃおう。どっちもダメはもう聞けない。それが耐えられなくて出て行った夫に、本当は、少し、結構、怒ってる。理解のある妻ちゃんをやってあげたかった。医療にもつなげたかった。ぜんぶできなかつた。

あの子達高校どうするんだろとか、その先の進路とか、どんな大人になるんだろとか、どんな夢を持つてるんだろとか、もう全然見えない。真っ暗だ。夜眠るとき、部屋を暗くする。その暗闇が不安を呼び起こす。

だからわたしは眠くなるまでBL二次小説を書く。

信じられないくらい笑える奴を書く。

信じられないくらい悲しい奴を書く。

信じられないくらいピュアな奴を書く。

信じられないくらいエロい奴を書く。

そうやって力尽きて眠る。

起きたら、いろんな顔をすれば一日は過ぎていく。

だからそれでいい。もう何も考えたくない。

いずみのスマホにLINE着信。

いずみはそれを見て、息を呑む。

暗転。

永子がノートに社名を書き付けて悩んでる。  
うんうん悩むと……スマホを操作。

永子 「社名決まんないよ〜」

シユイ、と返信

永子 「なんでも良いから早くして」……言う方。「バシシユンナサのなご」

シユイ、と返信

永子 「もうすぐ着くから、それまでに決めて」って。じゃあじゃあ。

いずみちゃんって名前。

いずみ おっはよー

永子 おはよ〜。ねえ、社名どうして。

いずみ あれ、まだ決まっていなかった？

永子 全然なーんにも決まらない。

いずみ ナウイ推しだけどね

永子 やだーださいー

いずみ んーじゃあ、エタニティは？ 永子の永。永遠の永。

永子 だっさい

いずみ ナガ・アンド・コーは？

永子 ナガアンドコーポレーション？

いずみ ナガアンドコーポレーション。ナガアンドコー、ナガコー。

永子 ないわー

いずみ あのねえ、ダメダメ言うならなんか出しなよ。

永子 だから、本当に何も思い浮かばないんだって！ いずみにはわかんないよ

いずみ ……んーまー、わかんないかもね。

永子 なんか意味が二つくらいかかってて、短くて、「えーそんな言葉あったん

だ」みたいなの、麗が感動して涙流すような言葉ない？

いずみ なんて麗が出てくるの

永子 だって、あの子全然褒めてくれないじゃん



いずみ 褒めてたじゃん

永子 いつ

いずみ 初めてここ来た日、がんばってるんだねって

永子 違うんだよ。状態を褒められたいんじゃないの。センスあるねって言われたいの！

いずみ なんじゃそりゃ

永子 いずみ〜天才字書き〜思い付いてよ〜

いずみ ……思い付いたらなにくれる？

永子 考えてくれるの？

いずみ 報酬次第かな。

永子 え〜？

いずみ 会社の名前って大事だからね、そこそこのものじゃないとだよ。

永子 そっか。

いずみ そうだよ。

永子 何が欲しい？

いずみ ……

いずみ わたしの給料ってどねくらになる予定？

永子 え？

いずみ 社員になったとして

永子 えっと……

麗 やって来る。

麗 おはよう。

いずみ わたしにいくら出すかってもう決めてる？

麗 なに？なんの話？

いずみ 給料の話

麗 三五〇位？ 業務内容からしたら結構いい方だと思うけど。

いずみ 七五〇になったりしないかな

永子・麗 えっ。

いずみ 例えだけぞ。

永子 それは……難しいんじゃないかな

いずみ どうして？ 三千万あるんでしょ？

永子 だからそれは今年だけだって

いずみ 来年もがんばればいけるよ

永子 がんばっただけじゃどうにもならないって。運もあるから。

いずみ じゃあ神頼みすれば良いじゃん。

麗 ねえ、ちょっと待って、どうしたの？

いずみ じゃあ社名思い付いたらボーナスちょうだいよ

永子 いずみ！

いずみ なに！

永子 どうしたの？ なんかあった？

いずみ ……なんもないよ

永子 嘘。いずみ変だよ

いずみ 変って何

麗 らしくない

いずみ わたしらしいって何。

麗 なんで七五〇がいいの

いずみ ……そのくらいの仕事するからだよ

麗 いずみがやってる仕事の相場と、積んできたキャリアと、売上考えると現

実的な金額じゃないと思う。

いずみ  
なんで！

麗  
例えば永ちゃんの仕事へのブランディングとか、効果的な営業とか、幅を広げる企画とか、そういうので動いたことある？

いずみ  
……

麗  
自分の年収七五〇にしたいなら、永ちゃんに毎年三千万以上売り上げさせるくらいことできてないよ。

いずみ  
今年三千万いったじゃん

麗  
いずみはその三千万にどう貢献した？

いずみ  
永ちゃんのモチベ落とさないようにしたよ、描けないとき超めんどうからね、永ちゃん。

永子  
え

いずみ  
才能ないんだとか枯れたとかここでお終いだとかぐちゃぐちゃうるさいのを毎回まああってなだめるのだって神経使うんだよ。

永子  
そうだったの

いずみ  
そうだよ。落ち込みやすく繊細だからワードチョイス間違えると死ぬほど不機嫌になるじゃん。その割に気が弱いから皮肉みたいな言い回しでし

永子  
か言い返してこないし、すぐ被害者サイドに入って「どうせわたしが悪いから」みたいなニュアンスのことをチラチラ言ってるのどうかと思う。そんな風に思ってたの？

いずみ  
片付けられない割にキレイじゃないと仕事できないとか、どうなってんの？四〇過ぎてんならその辺克服しときなよ。

永子  
なんでそこまで言われなくちゃいけないの

麗  
論点ずれてるよ

いずみ  
ずれてない！ わたしは、めっちゃくちゃ永ちゃんのお世話したの。そのおかげでお金稼げてるの。だったらそのくらい貰って良いはずでしょ。

永子  
……

麗  
冷静に聞いても、やっぱり三五〇だと思うよ。

いずみ  
なんで

麗  
永ちゃんのごく三年の売上平均みても、いずみに七五〇も払ってたら倒産しちゃう。いつか七五〇を目指すならいいと思う

いずみ  
それじゃ間に合わない

麗  
……すぐにお金があるんだ？

いずみ  
(頷く)

麗 何があったの

いずみ、はらはらと泣き出す。

いずみ 幸太郎が

いずみ ……投資詐欺にひっかった

永子 投資詐欺？

麗 あー……

いずみ 幸太郎ってさ、自分の収入で家族を養ってる、楽をさせてやってるってこ

とがプライドの人だったんだよ。実際、すごく仕事うまく行ってた。出世もしてた。人と接するのが好きだから営業が天職だった。わたしも、慎重も、蓮も、すごく幸せで。でもコロナになって、リモートになって、人と接することが減って、どんどん調子崩して行って、休職も薦めたんだけど、その時にはもう幸太郎ポッキリ折れちゃって、自主退職して……。退職金と貯金と失業保険があったから、少しのんびりしなよって思ってた。

永子

麗

いずみ

でも子ども達はどんどん大きくなるから不安でさ、わたしが。だから永ちゃんが働かせてくれるって話に乗った。そしたら幸太郎はもっと心折っちゃって。だから実家でゆっくりするのでもいいって思ってたんだよ。

実家？

戻ってみたい

今度はわたしが家族養う番だよって、そう言ってももう何にも幸太郎には響いてなくて……。多分、一発逆転したかったんだと思う。投資で当てれば、昔の自信満々な自分が戻ってくるって思ったんだと思う。バカみたいでしょ？ だからバカみたいな詐欺に引っかかって……。貯金ほぼもっていかれた。

ほぼ？

口座の残り、八〇万しかなくなってた。

いくらあったの

八〇〇万。

いかれたね……警察には？

言ったよ。でもお金が返ってくるのは難しいだろうって。

……

麗

いずみ

いずみ でも、わたしに幸太郎くらいの収入があれば、子ども達を傷つけずに、生

活していけるでしょ？

麗 だから七五〇万？

いずみ 幸太郎は、一三〇〇万くらいあったから、半分にして、やっぱり幸太郎には敵わないやうって。言ったら、納得してくれるかなって……

言いながら虚しくなっていたいずみ。

いずみ ……はは。浅はかだったわ。あゝごめん。なんでもない。忘れて。大丈夫。

夫。ごめんごめん。永ちゃん、さっきの、言い過ぎた。全然本心じゃない。永ちゃんの抜けてるところ、本当はすごく可愛いって思ってる。ごめんなさい。

永子 わかるよ。子どもがいてお金がないと死にたくなる。

麗 そうだね。死にたくなる。

いずみ ふたりとも、今、いっぱい稼いでるじゃん

永子 悠が幼稚園の時、全然お金なかったから、うち。

いずみ 嘘だあ



永子

なかったよ。だからホントいつもみじめでさ、冬にお迎えに行くときに皆はいてた本物のムートンブーツが羨ましかった。夏休みに行った旅行の話が羨ましかった。せめて貧乏に見えないように、安い材料で見栄えのするお菓子作ったりして、服はメルカリで探したりして、みじめにならないようにみじめにならないようにってがんばってた。

麗

うちは離婚して資格とる前がヤバかったなあ。元々実家も細いからさ、みんなで納豆ひとパック分け合ったりしてさ。一番上が高校進学だったから受験代とか入学金とか制服代しんどくて

制服……

いずみ

伝手で卒業生探して安く譲って貰ったりした。

いずみ

そんなことできるの？

麗

あとね、自治体によるけど就学援助もある。

永子

うちは悠が小学校に上がるときに受けた。

いずみ

……全然知らなかった

麗

まあ、いずみんちはずっとお金持ちだったからねえ

永子

確かに。

いずみ

お金持ちじゃないよ。普通だよ

永子・麗

っおーい

麗　　っていうかさ、パパ太郎一三〇〇万も稼いでるのに貯金八〇〇しかなかったの？

いずみ　それは、退職してからは切り崩してたから、前はもっとあったの。

麗　　そりゃ失礼。

いずみ　でもそれも八〇万になっちゃった。

いずみ　どうしよう

麗　　まず家売りな。それで安いところに引っ越す。

いずみ　でも、名義幸太郎だから、わたしでどこにかはできないと思う

麗　　今がその話をするチャンスでしょうよ

いずみ　幸太郎、本当に潰れちゃうよ

麗　　家族で心中する気？

いずみ　それはいやだ。

麗　　でしょ？

いずみ　でも……憶たちは傷つくよね。家が貧乏になっちゃうと

麗　　そりゃちよっとはね

いずみ それは避けたい

麗 このままいる方がもっと傷つくよ。

いずみ ……

麗 傷つかずに大人になった人間なんかいるもんか

いずみ やってみる。

麗 弁護士に相談できると良いけど、紹介しようか？ 法テラス対応してくれ

る人いたはず。

いずみ 麗じゃだめなの？

麗 税理士にできる範囲は超えてるってことです。

そっか……わかった。

麗 あと、即刻パパ太郎を医療に繋げな。

いずみ 幸太郎、病院嫌いなんだよね

麗 言ってる場合か

いずみ 本当に大変なんだって！

麗 パパ太郎ママが味方についてるんでしょ？そこらの老人でも何でも使って

やるんだよ。パパ太郎の価値は、稼いでくれることだけじゃないんだって、

元気であることなんだって、知らしめなさいよ。

いずみ

それ、病院に行けばなんとかなるの？

麗

わかんないよ。でも、パパ太郎が思い込んでる「男としての価値」みたいなもんは、ドブに捨てさせないとだめだよ。弱くたっていいんだってアンタが教えてあげるの。詐欺られた馬鹿なオジサンでも愛してるんでしょ？

いずみ

……愛してる。

麗

で、当面の生活費は……八〇万か。三ヶ月はもたないからなあ

永子

あのこと

永子

わたし貸してもいい。ちゃんと借用書書いてもらうだけ

いずみ

ううん。返せるアテがない。

永子

少しずつでいいよ。給料から天引きとかもできるし。

いずみ

わたし、永ちゃんの仕事でも働いてもいいの？

永子

いずみいないと回らない。から

いずみ

……でも、いい。友達にお金は借りれないよ。

永子

あんな金よこせよこせ言っといて。

いずみ

それはもう、本当にごめん。

麗 借りといったら？ 背に腹は代えられないでしょ。

いずみ だめ。それだけはしたくない。

麗 頑固者。

いずみ ごめん、でも本当に、それだけは。

永子 じゃあ、今まで読ませてもらった小説、買う。

麗 小説……？

永子 わたしたちさ、実は幼稚園で会う前から知り合いで。

いずみ 永ちゃん

麗 え？ そうなの？

永子 腐女子やってたんだよね。

麗 ふじょしって、あの、腐女子？

永子 うんそう。既存の漫画のキャラ使って、BLの二次創作してて。わたし漫画描いてて、いずみは小説書いてて。わたしはもう描けなくなっちゃったから、読み専。

麗 よみせん

永子 読む専門。いずみの二次小説がさあ、めちゃくちゃエモくてえっちで最高

なのよ。

麗 ア、ソウ

ひいてるね？ わかるよ。わたしもひいてる。年頃の男子の母が〇〇代キ  
ャラのBL読んで萌えてるの、ひく。わたしも自分にひくときある。でも  
さあ、映画公開してスラダン熱再燃してさ、ミッチーとメガネくんの新作  
が時を経て出てきたら読むしかないの。ガソリンなの。

麗 そこまで聞いてない

永子 (遮って) 後ろめたい気持ちも火に油なの

麗 わか、わかった。

永子 いずみね、毎月2本くらい、ながいのから短いのから続き物まで書いてく  
れてて、コロナ前は一緒に同人誌に参加したりして、ね？

いずみ あっハイ

永子 わたしは、描ける範囲でイラスト描いたりして。ね？

いずみ あ、うん

永子 まあ大して売れないし、赤字な事の方が多いから、収入にはならなかった  
んだけど

いずみ

あ、でも永ちゃんは昔はめちゃくちゃ有名な二次BLサークルにいて、わたし大好きで

永子

今はウサ描いてるけど、BLはもうDNAに刻まれた約束みたいになって、でも誤解して欲しくないのは、あれはファンタジーだと思ってるし、家には持ち込んでないし、悠には絶対見せないって決めてるし、現実と創作の区別はついてるつもり。

麗

あの、うん、大丈夫。そこまでは思っていない。

永子

そっか。それで、あの、いずみのね、ペンネーム・イスミール3世のね、やめて

永子

小説が素晴らしいわけ。ここまで行間を読み取るかって言う深い読解力に支えられた、少年達の心の機微が色鮮やかに描かれているわけ。

麗

うん

永子

課金させてくれと。友達だからってただで読ませてもらうには贅沢すぎるんだよ。だから絶対課金したいんだ。でも昔のわたしは貧乏で、施して貰わないと読めなくて、それが今や、ちゃんと稼げるようになったんだよ。

遡って課金させてくれ。お金を払わせてくれ。

永子　　って話。

麗　　うん、あの、そこまで話して貰わなくても大丈夫だったかな。

永子　　……やっちゃった

麗　　って言うてるけど、どっするん？

いずみ　　え……

永子　　今まで先生の小説を五〇以上読んできたと思います。

いずみ　　いや、でも、二次創作だし

永子　　……じゃあ、小説を通して、わたしを救ってくれた代ってことにさせてくれない？

いずみ　　わたしは、何も

永子　　ほんとだよ。ずっとずっと、救ってくれたんだよ。悠が生まれて、BL描けなくなると、読むのも怖くなって、同人の収入なくなると、貧乏で心がすさんで、そんな時にいずみが声かけてくれたんだよ。わたしのBLが大好きだったって。最初に読ませてくれた小説、すごく良かった。それからずっと、BLを好きでいてしまう自分を、いずみが救ってくれてたんだよ。だから、その分のお礼をさせて。



いずみ わたし、本当に何も……

永子 いずみはなんにもなくなってる。わたしの神「字書き」で、大事な親友

で、社員になってくれるんでしょ？

いずみ ……うん

永子 年収三五〇しか出せないけど

いずみ ……いい。

いずみ 永ちゃん、麗……

いずみ ありがとう。

暗転。

7

麗がいる。

麗 このあと、いずみはダッシュでパパ太郎の実家まで足を伸ばし、彼を慰め

て、説得して、生活を立て直す算段をいはじめました。それと並行して永ちゃんのもちベーションをキープして、法人化の業務と、領収書の整理を怒濤のごとくやっています。思ったより、結構仕事できるんだな、あの子。働いてなかったのがもったいない。

わたしが伝えたことがどれくらい実現できるかはわからないし、パパ太郎がどんな反応したのかなんてのは、正直興味ありません。いずみの生活さえ整えば良い。わたしと彼女の距離感はそのなところですよ。

永ちゃんはいずみに「救済料」としてまとまったお金を渡しました。「救済料」って何。経費に計上するのは怖すぎるので、今のところ「資料代」としてなんとかならんかと頭をひねっていますよじゆです。

会社名については……実は今も悩んでいるようで、そこが決まらないとこれ以上やることもないので、ただいたずらに法人設立日が延びて行ってしまう。

ホワイトボードの色々書ごころ永年。

既し書かわつごころのは「Zー」「Zー」「Zー」「Zー」「Zー」「Zー」「Zー」「Zー」  
「Z」&「O」&「S」&「C」&「S」

いずみはそれをみて

いずみ

なんでナウイがないの。

永子

入れるわけないでしょ。

いずみ

なんでよ。あ、でもエタニティ入れてくれてる

永子

まーないとは思いつつ

麗

そのイ又つてのなに

永子

アイエ又ユー。いずみ、永子、麗

麗

だから、わたしは顧問税理士だから、正確には外部だから

永子

えーいいじゃん。仲間なんだし

麗

BLわからずとも？

永子

BLだけが絆じゃないでしょ

いずみ

麗って推しないの？

麗

えー推しとか考えたことないな

永子

楽しい？推しのいない人生

麗

なめんなよ。楽しいわ。

麗 あゝでも、モーニング娘。はずっと好き。

いずみ いるじゃん！

麗 追っかけてるわけじゃないよ？ 今のモー娘。はちよっとわかんない。

いずみ いつくらい？ やっぱラブレボ？

麗 一番好きなのは田中麗奈だったなあ。

いずみ シャボン玉！

永子 ねえ、真面目に考える気ある？

いずみ 考えるのは永ちゃんの仕事でしょ。

永子 あ、そういうこと言う。

麗 頼みますよ社長。

いずみ 社長

永子 やめてよ

永子 どれもパツとしない。

いずみ 永ちゃん、麗が唸るような社名考えたいんだって

永子 言わないでよ

麗 なんでわたし

永子 ……実は憧れてたから。そう言う人には「すげえ」って言ってもらいたいじゃない  
麗 なにそれ

麗 そんなこと思ってたんだけだ  
永子 だから最初、殊更お金いっぱい稼いどどってやっちゃった。わたしほ  
ら、「コミュ障じゃん？」

いずみ しらないよ  
麗 ふうん

麗 ふうん

麗 永ちゃんはどんな会社にした  
永子 え？

麗 自分の会社。いずみがマネージャーで、わたしが顧問税理士の会社。どう  
していききたい？  
永子 そりゃ、いろんな、仕事をしたい

麗 例えば？

永子 疲れてるときにホッとできるようなキャラクターとか、誰にも言えない気

持ちを代弁してくれる何かとか、「わたしのただけに存在している」と  
思っって貰うこととか……掘っても掘っても宝物が出てくるような、そいつ  
う

麗 いいね。

いずみ ……マインは？

永子 マイン

いずみ 掘っても掘ってもって、鉱山みたいだなんて思っって。マイン、鉱山って意

味。宝物が眠っってる鉱山って意味

麗 わたしのも、じゃなくて？

いずみ それもある、あとは地雷？

永子 地雷か

麗 いいんじゃない？ 奥に毒が隠れてる。

いずみ 全部わたしのものじゃくみたいな

永子 合同会社マイン。

永子、ホワイトボードに書き付ける。

「Mirror」

永子 わたしが思い付きたかった

いずみ 決定？ 決定？

麗 あゝこれで書類書ける。

いずみ お茶にしよう。幸太郎の実家から千足屋のフィナンシエパクってきたから

永子 食べる。

いずみ 準備するね。

いずみ、キッチンへ。

麗 書類、デスクの横だよな？

永子 うん。

麗 取ってくる。

麗、去る。

永子、ホワイトボードの文字を「Mine」を残して消す。

永子

「これで、このお話はおしまいです。ベロウカ、私たちの鉱山が、豊かなものであるように、祈ってくださったらいいと思います。わたしはこれから、フィナンシエを食べます。」

幕。



●あとかぎ

特典付き先行チケットのお買い上げ、  
ありがとうございます。

とつてもとつても、お金の話をする物  
語になりました。

経済観念も、感覚も、安心する金額  
も、逼迫する金額も、人や環境によっ  
ても違って、その切実さはなかなか共  
有しがたいものです。

信じられないくらいの貧乏を経験し  
て、経済的な安心も経験して、口座の  
残高ってこんなに心を動かすものなの  
だと実感しました。

それを描きたいと思いました。  
あ、でもあくまでフィクションです。

ロストエイジと呼ばれて、そのまま四  
〇代も半ばになって、だけど社会はも  
のすごい速度で変わっていったって、振り  
切られないように必死です。

必死こきながら、信じられる誰かと手  
を繋ぎたい。

許し合いたい。許さない自分を許した  
い。許してしまう自分を許したい。

わたしたちは何をロストして(され  
て)しまったのかを見つめたい。

これからも、自分の心の動きを正直に  
書き続けたいと思います。

それが少しでも、誰かの明日を生きる  
言い訳になりますように。

米内山陽子

●上演記録

2023年10月16日〜22日

於・イズモギャラリー

演出 米内山陽子

出演 永子 田中千佳子

いずみ 中村貴子

麗 高橋恭子

音楽 米内山尚人

舞台監督 久保田智也

照明 田村亮太

音響 荒木まや

宣伝美術 藤尾勘太郎

舞台写真 古里麻衣

記録映像 スコア(CO3)

制作 神崎ゆい

企画・製作 チタキヨ

●著作権

著作権は作者に帰属します。

無断での譲渡・転載は禁止です。

上演ご希望の場合は

チタキヨまでお問い合わせください。